

登録速報

農薬名：クミアイスマート1キロ粒剤（登録番号：第 22255 号）

適用拡大登録月日：平成27年7月8日

適用拡大登録内容：

- 適用土壌、適用地帯の区分を廃止する。それに伴って、適用雑草名「ミズガヤツリ(北海道を除く)」を「ミズガヤツリ」に、「ヘラオモダカ(北海道、東北)」を「ヘラオモダカ」に、「オモダカ(北海道、東北)」を「オモダカ」に変更し、使用時期「移植直後～ノビエ2葉期 但し、移植後30日まで」を削除する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ ヒルムシロ	移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで	1kg/10a	1回	湛水散布
		移植時			田植同時散布機で施用

フェントラザミドを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを 含む農薬の総使用回数	ベンゾフェナップを含む農薬の総使用回数
1回	2回以内	2回以内

注意事項の変更：

【削除事項】

- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないこと。

【変更後】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヘラオモダカは2葉期まで、オモダカは発生始期まで、ヒルムシロは発生期までが本剤の散布適期である。

- オモダカは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないので、必要に応じて有効な前処理剤または後処理剤と組み合わせて使用すること。連年施用することにより、さらに効果が向上する。
- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなうこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなうこと。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態（水深3～5cm）のまま田面に均一に散布し、少なくとも7日間は入水、落水、かけ流しをせず、止水管理をおこなうこと。ただし、田面が露出し、土壌表面に亀裂が入るおそれがある場合は給水をおこなうこと。
- 下記のような条件では、初期生育抑制を生じるおそれがあるので、使用をさけること。特に、これらの条件が重なる場合は、初期生育が著しく抑制されるので注意すること。
 - 異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
 - 活着遅延を生じるような異常低温の時
 - 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)
 - 軟弱な苗を移植した水田
 - 極端な浅植の水田
 - 植え穴のもどりが悪い水田
- 本剤はその殺草特性からいぐさの生育を阻害するおそれがあるので、いぐさの生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意すること。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないこと。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけること。
- 移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用すること。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないこと。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以 上